



中央アジア地域ニュース

アゼルバイジャン：BTC 原油パイプラインを巡る動向 (10月23-24日付現地各紙)

1. NATOによる防衛の可能性

シモンズ NATO コーカサス中央アジア担当事務総長特別代表の発言：

- (1) NATOはBTC(バクー・トビリシ・ジェイハン)原油パイプラインを防衛する可能性がある。現在、専門家らが、NATOが同パイプラインを守るために如何なる支援が可能かを検討中である。NATOは加盟諸国のエネルギー安全保障のために重要な一步を踏み出そうとしている。
- (2) 同パイプラインの一部は、現在、緊張が高まっているトルコの領土を通過しており、本問題は真剣に受け止められるべきである。トルコはNATO加盟国であり、又、アゼルバイジャンはNATOのパートナー国である。NATO関係国を通るエネルギーのインフラ防護の問題は、エネルギー安全保障の最重要課題であり、BTCパイプラインの軍事的防衛は最優先の課題である。

2. PKK(クルド労働者党)によるテロの可能性

- (1) 先般トルコで爆発物を所有し逮捕された女性は、取調べで、BTC原油パイプラインを爆破するつもりであったと述べた。又、2日前には、PKK幹部が、トルコがイラクに越境した場合、トルコを通過するパイプライン、特にBTCパイプラインを爆破するとの声明を出した。

数年前、アゼルバイジャンに大量のクルド人が流入し(注：約6万人との情報もある)、BTCパイプラインが通過する地域に居住していたが、専門家はその危険性を指摘した。その後、大部分のクルド人はアゼルバイジャンから出国させられた。アゼルバイジャンにおいてBTCパイプラインの監視・防御を怠るべきではない。何故ならば、トルコでテロ活動が出来ないPKKが、アゼルバイジャン又はグルジアにおいてテロ活動を行う可能性があるからである。

- (2) 外務省報道官によるPKKのテロに関する発言(22日)：

トルコ国会の北イラクでの軍事行動に関する決定はトルコに属するものであり、現在起きている事態(注：PKKによるテロ)の結果として軍事行動が実施されるであろう。アゼルバイジャンは常にトルコを支持する。PKKはテロ組織として知られており、トルコによるPKKとの戦いはテロとの戦いと評価されるべきである。アゼルバイジャンもテロによる被害を受けた国の一つである。従って、テロとの戦いに積極的に参加してきており、今後も参加していくだろう。